

松医会理事会にて、海外実習を行った5年生6名が帰国報告を行いました

信州大学医学部同窓会である松医会の先生方にご賛同頂き、2021年12月から医学部の国際交流活動・海外留学を広く支援する「松医会海外留学奨学金」制度が始まりました。2022年9月、医学科5年生6名が3か月間の海外実習を行い、4名が松医会海外留学奨学金を受けました。2023年1月19日、6名が松医会理事会で帰国報告を行いました。

対面とZOOMのハイブリット開催となりました。なかには英語で発表する学生もあり、出席者の先生方は大変感心されていました。またドレスデン工科大学からの3名も参加し、ドイツと日本の医療制度や医学教育の違いを話してくれました。久保恵嗣会長、吉岡二郎副会長、理事である駒津光久教授をはじめ、多くの先生方から質問が投げかけられました。出席者の先生方から、「海外で頑張ってきた後輩を誇らしく思った」との感想が聞かれました。

松医会の先生方から頂いた奨学金を有効に使用させて頂き、さらに多くの学生を海外で学ばせたいと考えております。それが長期的には信州大学医学部・日本の医療界の国際化につながるものと期待します。今後も松医会の先生方と学生との交流を深め、先輩方からアドバイスを頂く機会を作ってまいります。引き続き、御支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

医学部 国際交流担当教授・国際交流推進室室長 田中直樹

学生さんの報告はこちら➡ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/international/>

